

インフラメンテナンス 国民会議

近畿本部フォーラム

オンライン

24時間
365日

全国どこからでも見てもらえる

多くの施設管理者のアクセスが期待！

・遠方の施設管理者や後援団体の関係者の参加
・年間を通したインフラに関する様々なコンテンツ企画



優れたマッチング機能

キーワード検索・ジャンル検索により、
知りたい技術の検索が簡単にできます。

掲載期間は1年間！

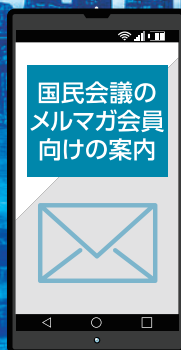
出展料 330,000円*
入金確認後の翌月から1年間となります。

*当会是非営利事業として、インボイス制度に登録をいたしません。
よって、次年度のインフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム及び
オンライン展示会の出展費用につきましては、協賛金とさせていただきます。



Japanese Congress for Infrastructure Management
インフラメンテナンス国民会議

全体会員数:3,029者
企業会員:1,052者
行政会員:1,432者
行政会員への加入率
80%以上!
(1,432/1,788自治体)
団体会員:182者
個人会員:363者



市区町村長会議 構成員:1,119者
参画率**50%以上!** (1,119/1,741自治体)
※都道府県を除く
2024年5月31日現在

Japanese Congress for Infrastructure Management
インフラメンテナンス国民会議
近畿本部フォーラム

イベント内での告知

- 「フォーラム」「ピッチイベント」「実証実験」「近畿本部フォーラムのアーカイブ」など**近畿本部フォーラムの活動を配信**
- 著名な方の講演、インタビュー、後援団体のイベントなどの動画配信
- その他、様々な**集客イベントを開催予定**

プレス発表



お申し込みは事務局までご連絡ください

<https://infurakinkihonbu-tenji.jp/online/>



インフラメンテナンス 国民会議

近畿本部フォーラム 2024

実施結果報告書

日程 2024年

5月23日(木) 10:00~17:00
(開場 9:30)

5月24日(金) 10:00~17:00 (屋外 16:30まで)

会場 花博記念公園鶴見緑地 ハナミズキホール・附属展示場



【主催】
インフラメンテナンス国民会議
インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム
一般社団法人 国土政策研究会 関西支部

【後援】

国土交通省 他45団体

INDEX

ごあいさつ	1	講演一覧	5・6
主催・後援・出展社一覧	2	市区町村長会議・道路会議	7
来場者数・出店者数	3	インフラメンテナンス大賞・土木漫才	8
メディア掲載情報	4		

「インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム2024」の開催に際し、国土交通省をはじめ多くの関係機関及び、ご出展いただきました各企業・団体の皆様、そしてご来場いただいた皆様方に心より御礼申し上げます。盛会のうちに無事幕を閉じることができましたことまことにありがとうございます。

私たちインフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラムは、インフラメンテナンスに関するノウハウを持つ企業や土木系大学などの教育機関が数多く立地する近畿の地の利を活かして、近畿地方を中心に様々な活動を行っております。その集大成として行う本フォーラムは、地方自治体が抱えるインフラメンテナンスの技術的な課題（ニーズ）と、民間企業などが保有する技術（シーズ）のマッチングを促進し、ひいては我が国のインフラを未来の世代へ引き継ぐことを目的として、2018年に始めました。今回で7回目の開催となります。本フォーラムがインフラメンテナンスへの関心を持っていただく契機となり、全国各地のインフラの維持・保全の生産性向上につながりましたら、幸甚に存じます。

技術の発展は著しく、インフラメンテナンス界隈においても日々目まぐるしく進歩しています。しかしながらどれだけテクノロジーが進歩しようとも、インフラメンテナンスを支えているのは人です。全国各地に点在する歴史的土木構造物として認定された土木遺産は、50年、100年の長い年月にわたって予防保全をしてきた現場の人々のおかげです。各地にある社会インフラ・施設も同じで、それらを支えているのは現場にいる人たちであり、感謝の念に堪えません。

今存在するインフラを次の世代にも健全な状態で引き継ぐためにインフラメンテナンスに取り組むプラットフォームであり続けることが、私たちインフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラムの存在意義です。今後も社会が一丸となってインフラメンテナンスに関する課題に取り組む橋渡しとなるように、精進してまいります。

本フォーラムにご後援や特別協力そして出展していただきました皆様方、ご来場いただいた大変多くの皆様方に深く感謝いたしますとともに、引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

インフラメンテナンス国民会議
近畿本部フォーラム2024 実行委員長

霜上 民生



「インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム2024」の開催にご支援・ご協力をいただきました関係者ならびにご来場いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。おかげ様で多くの方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。

インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラムでは、インフラメンテナンス産業の活性化のみならず、技術力のある企業や土木系大学などの教育機関が数多く立地しているという近畿地方の利点や、産学官の連携・ネットワークの実績が今までにもあったことなどの強みを活かして、「近畿らしさ・近畿ならではの」コンセプトに、2つのワーキンググループの活動やハンズオン支援事業のアドバイザー活動を通じた自治体支援を行っております。

国民生活・社会経済を支えるインフラを維持するためには、より多くの市民の方々にインフラメンテナンスの重要性をご理解いただき、興味・関心を高めることが非常に重要です。産官学民が一丸となってインフラメンテナンスに取り組む社会づくりの一助として、メンテナンス現場の意外性や魅力などの戦略的な情報発信、また実際にメンテナンスに使用する重機や最新技術などを見て・触れて・体験できる展示会と併せて、日々の活動の情報発信を行う場として、「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム2024」を開催いたしました。

日々の活動といたしましては、「近畿情報ワーキンググループ」が施設管理者の抱える技術的な課題解決に向けて、施設管理者のニーズを調査・収集し、ニーズと民間企業等が保有するシーズとの仲介役として、マッチングから技術検証（実証実験）につなげる活動を行い、「包括的民間委託等の推進ワーキング」がインフラメンテナンスを持続的・実効的かつ効率化するような契約手法・制度的テーマに対して、複数の自治体職員等の方々と「地域インフラの持続的な維持管理を考える会」という勉強会を立ち上げて活動し、「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」や「包括的民間委託等の導入」の伴走支援を行っております。併せて、インフラの将来を支える人材育成や仕組みづくりを目指しつつ、ハンズオン支援事業のアドバイザーとして自治体の新技術導入や人材育成などの支援活動にも参加しております。

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムでは、社会全体がインフラメンテナンスに対する理解を一層深めることを目的に今後も尽力してまいりますので、引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

インフラメンテナンス国民会議実行委員 兼
近畿本部フォーラムフォーラムリーダー

片岡 信之



主催・後援・出展社一覧

主 催

**インフラメンテナンス
国民会議 近畿本部フォーラム2024**
2024年5月23日(木)・24日(金)

インフラメンテナンス国民会議
インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム
一般社団法人 国土政策研究会 関西支部

後 援

国土交通省
福井県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、
京都府、大阪府、神戸市、京都市、大阪市、堺市
大阪商工会議所
国立研究開発法人土木研究所
西日本高速道路株式会社
阪神高速道路株式会社
本州四国連絡高速道路株式会社
関西エアポート株式会社
阪神国際港湾株式会社
大阪ガスネットワーク株式会社
関西電力株式会社
日刊建設工業新聞社

公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構
公益財団法人河川財団
公益社団法人土木学会 関西支部
公益社団法人関西経済連合会
公益社団法人日本技術士会 近畿本部
公益社団法人地盤工学会 関西支部
公益社団法人日本測量協会関西支部
一般社団法人近畿建設協会
一般財団法人阪神高速先進技術研究所
一般財団法人日本建設情報総合センター
一般財団法人先端建設技術センター
一般財団法人橋梁調査会
一般財団法人河川情報センター

一般財団法人公園財団
一般社団法人日本埋立浚渫協会 近畿支部
一般社団法人公共建築協会
一般社団法人日本橋梁建設協会
一般社団法人日本建設業連合会 関西支部
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会
一般社団法人建設コンサルタンツ協会 近畿支部
一般社団法人日本建設機械施工協会 関西支部
一般社団法人日本道路建設業協会 関西支部
一般社団法人関西地質調査業協会
一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会
独立行政法人水資源機構関西・吉野川支社
独立行政法人都市再生機構

出展社一覧(50音順)

ア 株式会社アーステック東洋
株式会社 I H I インフラ建設
株式会社 I H I インフラスystem
i システムリサーチ株式会社
青木あすなろ建設株式会社
アジア航測株式会社
アス・プランテック株式会社
株式会社JSP・フォームサポート工法研究会
株式会社ウオールナット
株式会社エスイー
N E C フィールディング株式会社
応用地質株式会社
大型車通行適正化に向けた近畿地域連絡協議会
株式会社大林組
大林道路株式会社
株式会社大本組
株式会社奥村組
奥村組土木興業株式会社
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
オリエンタル白石株式会社

カ 株式会社ガイアート
鹿島建設株式会社
鹿島道路株式会社
株式会社片平新日本技研
川田テクノロジー株式会社
河西運輸株式会社
株式会社キナン
一般社団法人近畿建設協会
株式会社近畿地域づくりセンター
キンキ道路株式会社
株式会社熊谷組
倉敷紡績株式会社
ケミカルグラウト株式会社
株式会社建設技術研究所
株式会社 C O R E 技術研究所
株式会社鴻池組
国際航業株式会社

キ 国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所
国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター
国土交通省近畿地方整備局リクルートブース
コニシ株式会社
五洋建設株式会社
一般財団法人災害科学研究所
佐藤鉄工株式会社
株式会社 JSP・フォームサポート工法研究会
時短金網工法研究会
清水建設株式会社
社会基盤維持管理研究会
社会基盤メンテナンス教育センター
ジャパンメディアシステム株式会社
ショーボンド建設株式会社
株式会社シンクロアイズ
株式会社新免鉄工所
S k y 株式会社
株式会社 杉孝
スカイドロン株式会社
世紀東急工業株式会社

ク 大伸化学株式会社
大成建設株式会社
大成建設株式会社
大成ロテック株式会社
大日本ダイヤコンサルタント株式会社
高田機工株式会社
瀧上工業株式会社
株式会社竹中道路
株式会社竹中土木
中央開発株式会社
中央復建コンサルタンツ株式会社
株式会社社長大
東亜道路工業株式会社
東海コンクリート工業株式会社
東急建設株式会社
東京製鋼株式会社
株式会社特殊高所技術

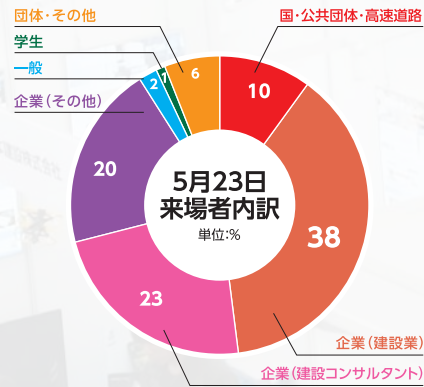
タ 戸田建設株式会社
飛鳥建設株式会社
チ 内外構造株式会社
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
西日本高速道路エンジニアリング九州株式会社
西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社
西日本高速道路エンジニアリング中国株式会社
西松建設株式会社ニチレキ株式会社関西支店
公益社団法人日本技術士会 近畿本部
日本躯体処理株式会社
一般社団法人日本鋼構造物循環型プラスト技術協会
日本電気株式会社
日本道路株式会社
日本ビソン株式会社
一般財団法人日本品質保証機構
NEXCO西日本インベーションズ株式会社
ナ パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社バスコ
バルテム技術協会関西支部
阪神検査株式会社
阪神高速技術株式会社
阪神高速技研株式会社
一般財団法人阪神高速先進技術研究所
日之出水道機器株式会社
Pix4D株式会社
福田道路株式会社
復建調査設計株式会社
古河電気工業株式会社
本州四国連絡高速道路株式会社
本四高速道路ブリッジエンジ株式会社
マ 舞鶴工業高等専門学校
前田建設工業株式会社
前田工織株式会社
前田道路株式会社
宮地エンジニアリング株式会社
村本建設株式会社
ヤ 八千代エンジニアリング株式会社
ラ 株式会社レールテック

日別来場者数(速報値)

5月23日(1日目)来場者数

出展分野	5月23日	比率
国・公共団体・高速道路	505人	10%
企業(建設業)	1,952人	38%
企業(建設コンサルタント)	1,218人	23%
企業(その他)	1,041人	20%
一般	120人	2%
学生	62人	1%
団体・その他	302人	6%
報道	5人	—
合計	5,205人	

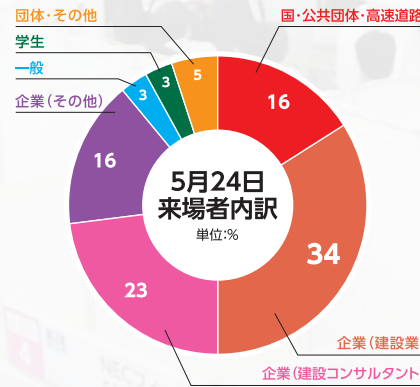
※比率は端数切捨て



5月24日(2日目)来場者数

出展分野	5月24日	比率
国・公共団体・高速道路	881人	16%
企業(建設業)	1,885人	34%
企業(建設コンサルタント)	1,318人	23%
企業(その他)	903人	16%
一般	174人	3%
学生	143人	3%
団体・その他	303人	5%
報道	3人	—
合計	5,610人	

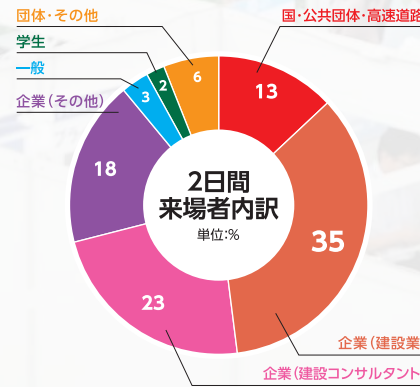
※比率は端数切捨て



2日間来場者数

出展分野	5月23日	比率
国・公共団体・高速道路	1,386人	13%
企業(建設業)	3,837人	35%
企業(建設コンサルタント)	2,536人	23%
企業(その他)	1,944人	18%
一般	294人	3%
学生	205人	2%
団体・その他	605人	6%
報道	8人	—
合計	10,815人	

※比率は端数切捨て



学生のリクルート活動にも貢献しました

● 学生来場数 ●

5月23日(1日目)	5月24日(2日目)
62人	143人
2日間計	205人

● 学校内訳 ●

大阪工業大学
大阪公立大学
京都芸術大学
摂南大学
同志社大学
阪南大学
舞鶴工業高等専門学校 (50音順)



年度別来場者数

	2024年(本年)	2023年	前年対比	過去参考	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
1日目	5,205人	2,880人	180%		5,016人	4,579人	2,175人	3,872人	1,021人
2日目	5,610人	4,216人	133%		5,554人	4,645人	3,702人	1,490人	1,009人
2日間合計	10,815人	7,096人	152%		10,570人	9,224人	5,877人	5,362人	2,030人

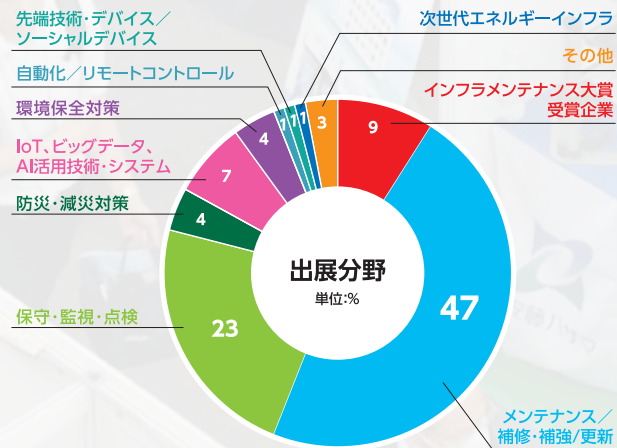
※比率は端数切捨て

出展社

出展分野・社数・ブース数

出展分野	社数 (共同出展社数含む)	ブース数	比率
インフラメンテナンス大賞受賞企業	9社	8ブース	9%
メンテナンス/補修・補強/更新	56社	45ブース	47%
保守・監視・点検	26社	22ブース	23%
防災・減災対策	4社	4ブース	4%
IoT/ビッグデータ/AI活用技術・システム	7社	7ブース	7%
環境保全対策	4社	4ブース	4%
自動化/リモートコントロール	1社	1ブース	1%
先端技術・デバイス/ソーシャルデバイス	1社	1ブース	1%
次世代エネルギーインフラ	1社	1ブース	1%
その他	3社	3ブース	3%
合計	112社	96ブース	100%

※比率は端数四捨五入



日刊建設工業新聞(1版・10面) 2024年5月24日

近畿フォーラム開幕
きょうまで 最新技術が集結インフラメンテ
国民会議

インフラメンテ・国民会議は、23、24の両日、大阪市の花
会議と近畿本部フォーラム博記念公園鶴見緑地ハナミズキ
ホールで開催された。約10
0の企業・団体がブースを
出展。最新技術のPR、
屋外では建機や先進技術の
実物展示・デモンストレー
ションを行う。今後の維持
管理の在り方を考える講演
会なども開かれる。会期は
24日まで。入場無料。
フォーラムはインフラ施
設管理者のニーズと民間企
業が持つ技術のマッチング
などを目的に企画され、今
回は7回目となる。開会式
で実行委員長の霜下生国
土政策研究会常務理事兼関
西支部長「インフラメン
テは国民生活にとっても非常
に重要な。インフラ施
設が永く使えるよう、近
畿本部フォーラムというブ
ラットフォーラムや出展企業
の最新技術など活用したた



自社の新技術をPR

局長は「フォーラムを契機
に産官民の連携が一層強
化され、インフラの戦略的
な維持管理・更新や安全で
安心な国民生活の確保、メ
ンテナンス産業の発展につ
ながることを期待してい
る。近畿整備局も効率化が
図れる技術を積極的に導入
していきたい」と話した。
関係者によるテーブルカ
ットに続き、森下参事官が
「i-Construct
ion2・0」建設現場の
オートメーション化、
長谷川近畿整備局長が「近
畿地方整備局のインフラ整
備、各口博記念公園鶴見緑地
研究開発が「インフラの今
とこれから」をテーマとし
てインフラ投資」をテー
マに基調講演を行った。
午後にはインフラメンテ
ナンス国民会議市町村長会
議近畿ブロックの第3回総
会が開かれ、国と自治体が
道路の維持管理など情報
を共有。近畿整備局の小島
優企画部長をコーディネー
ターに迎え、広瀬安兵衛県



テーブルカット

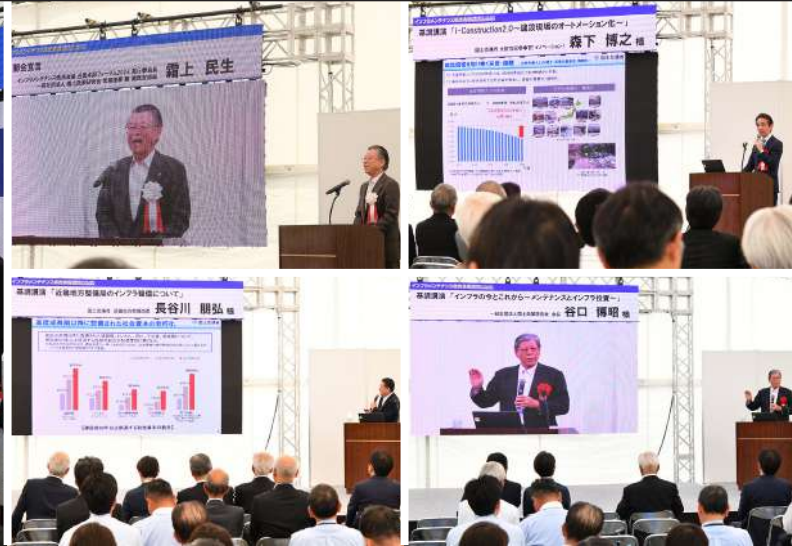


企業や団体がブース出展

技術マッチング狙う
講演会や実証実験報告インフラメン
テ国民会議

ナンス国民会議近畿本部フォ
ーラム2024」を開いてい
る。民間企業や団体など1
3者がブースを出展してい
る。講演会やメンテナ
ンス事業の実証実験報告などがあ
った。
23日の開会式であらうに
立った同フォーラムの実行委
員長を務める同研究会の霜下
民生理事兼関西支部長は
「市町村の現場で抱えるニ
ーズと企業が持つ技術のマッチ
ングを目的にフォーラムを開
いており、オンラインでも参
加可能だ。近隣の学生も招待
している。われわれは、マッ
チングの場を提供している。
現場の生産性向上とリクル
ームを予定している。

講演一覧(5月23日)



■ 開会式

10:00～

開会宣言

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム2024 実行委員長
一般社団法人 国土政策研究会 常務理事

霜上 民生 氏



来賓挨拶

国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)

森下 博之 氏



国土交通省 近畿地方整備局 局長

長谷川 朋弘 氏



テープカット

国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)

国土交通省 近畿地方整備局 局長

インフラメンテナンス市区町村長会議 近畿ブロック幹事 養父市長

大阪市建設局 局長

一般社団法人近畿建設協会 理事長

一般財団法人阪神高速先進技術研究所 専務理事

公益社団法人土木学会関西支部 支部長

公益社団法人日本技術士会理事 兼 近畿本部 副本部長

西日本高速道路株式会社 代表取締役社長

本州四国連絡高速道路株式会社 代表取締役社長

阪神高速道路株式会社 代表取締役社長

日刊建設工業新聞社 大阪支社長

一般社団法人国土政策研究会 会長(土木学会 第109代会長)

インフラメンテナンス国民会議 実行委員兼近畿本部フォーラムフォーラムリーダー

一般社団法人国土政策研究会 理事兼関西支部事務局長

森下 博之 氏

長谷川 朋弘 氏

広瀬 栄 氏

寺川 孝 氏

谷本 光司 氏

足立 幸郎 氏

青木 伸一 氏

河野 千代 氏

前川 秀和 氏

後藤 政郎 氏

吉田 光市 氏

泉 隆 氏

谷口 博昭 氏

片岡 信之 氏



国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)

森下 博之 氏



国土交通省 近畿地方整備局 局長

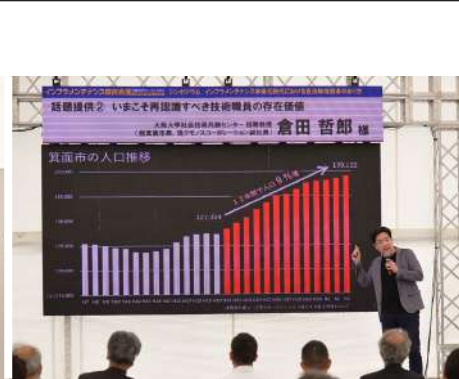
長谷川 朋弘 氏



一般社団法人国土政策研究会 会長(土木学会 第109代会長)

谷口 博昭 氏

講演一覧(5月24日)



■ 特別講演

10:30～

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事・副事務総長

東川 直正 氏



■ 実証実験報告会

11:00～

近畿本部フォーラム 情報ワーキンググループ 実証実験報告会

挨拶

国土交通省 近畿地方整備局 企画部 事業調整官

川島 隆宏 氏



概要説明

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 企画委員

東 定生 氏



第23回実証実験

ニーズ

・施設管理者:大阪府
・求める技術:堤防等のり面における除草の効率化技術

シーズ

・アス・ブランテック株式会社

「クローラ型ラジコン草刈り機を用いて堤防のり面の除草を行う技術」

第24回実証実験

ニーズ

・施設管理者:大阪府
・求める技術:護岸背面の調査技術

シーズ

・株式会社ウォールナット

「レーダーアンテナを搭載した壁登りドローンにより、電磁波による非破壊調査によって護岸全体の状態を把握する技術」

シーズ

・ジオ・サーチ株式会社

「路面から3m程度まで探査可能な路面下空洞探査車を使用し、護岸背面の空洞箇所を検出する技術」

統括

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 情報WG長

坂野 昌弘 氏



シンポジウム「インフラメンテナンス本格化時代における自治体技術者のあり方」

■ 話題提供

14:30～

話題提供①

「総力戦で取り組むインフラマネジメント
～持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて～」

国土交通省 総合政策局
公共事業企画調整課 企画調整官

岩井 聖 氏



話題提供②

「いまこそ再認識すべき技術職員の存在価値」

大阪大学社会技術共創センター 招聘教授
(前箕面市長、現クモノスコアレーション副社長)

倉田 哲郎 氏



15:30～

パネルディスカッション「どうする?自治体のインフラメンテナンス技術者!」

コーディネーター

近畿本部フォーラム 包括的民間委託等の導入推進WG長

板倉 信一郎 氏



パネリスト

川西市道路補修担当課長

中津留 幸紀 氏

NPO橋守支援センター理事長

坂野 昌弘 氏

十津川村建設課長

大前 貴広 氏

兵庫県まちづくり技術センター但馬事務所長

藤輪 友宏 氏

同時開催(5月23日)

インフラメンテナンス市区町村長会議 近畿ブロック「第3回 総会」

主催 インフラメンテナンス市区町村長会議 近畿ブロック事務局

■ 開会 13:15～
開会宣言

インフラメンテナンス市区町村長会議 近畿ブロック幹事 養父市長
広瀬 栄 氏



来賓挨拶

(ビデオメッセージ)
インフラメンテナンス市区町村長会議 代表幹事 稲城市長
高橋 勝浩 氏



国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長
齋藤 博之 氏



■ 基調講演 13:30～

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課長
齋藤 博之 氏



■ 特別講演 14:00～

土木学会関西支部 京都大学大学院 工学研究科 教授
大西 正光 氏



■ 意見交換会 14:30～

テーマ「インフラメンテナンスにおける人材不足・人材育成に関する課題と取り組みについて」

コメンテーター

土木学会関西支部 京都大学大学院 工学研究科 教授
大西 正光 氏



コーディネーター

国土交通省 近畿地方整備局 企画部長
小島 優 氏



パネリスト 近畿ブロック幹事(兵庫県 企画委員) 養父市長 京都府 企画委員 京田辺市長 和歌山県 企画委員 和歌山市副市長(代理)
滋賀県 企画委員 大津市長 大阪府 企画委員 東大阪市長

同時開催(5月24日)

近畿管内道路メンテナンス会議

主催 近畿地方整備局 道路部

主催者挨拶

国土交通省 近畿地方整備局 道路部長
水野 宏治 氏



■ 講演 13:00～

最近の道路メンテナンスの動向について

国土交通省 道路局 国道・技術課 企画専門官
増 竜郎 氏



近畿管内の道路メンテナンスについて

国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長
青山 淳 氏



■ インフラメンテナンス大賞のプレゼンテーション

● 舗装 車載簡易装置による道路点検システム「GLOCAL-EYEZ」 ニチレキ株式会社

■ 点検支援技術性能カタログのデモおよびプレゼンテーション

● 橋梁 ドローン・スマホ・ソナーにより橋梁全体の状態・形状計測技術 株式会社特殊高所技術/PROSPIT

● トンネル 走行型高速3Dトンネル点検システム MIMM-R(ミーム・アール) レーダ探査技術ー パシフィックコンサルタンツ株式会社

インフラメンテナンス大賞受賞企業展示・プレゼン

展 示 ハナミズキホール

展 示 5月23日(木)・24日(金)

プレゼン 5月23日(木) 12:15～

■ 総理大臣賞

経済産業省 大阪ガスネットワーク株式会社(パネル展示)
応募案件 レーザー分光式検知器と専用ナビの活用による
漏えい検査の効率化

■ 大臣賞

総務省 五洋建設株式会社
プレゼン日時 5月23日(木) 12:15～12:30
応募案件 3D画像処理およびAIを活用した
港湾構造物の維持管理トータルシステム

防衛省 日之出水道機器株式会社
プレゼン日時 5月23日(木) 14:45～15:00
応募案件 FOD事故を防止する
ダクトイル鉄製グレーチング GR-U

■ 特別賞

総務省 国土交通省近畿地方整備局
大規模土砂災害対策技術センター・
アジア航測株式会社
プレゼン日時 5月23日(木) 15:00～15:15
応募案件 砂防設備の維持管理における高度化に向けた取組み

■ 優秀賞

国土交通省 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
プレゼン日時 5月23日(木) 12:30～12:45
応募案件 基礎自治体向けのECI方式(田原本町仕様)に関する
橋梁包括的発注の制度構築

国土交通省 中央開発株式会社
プレゼン日時 5月23日(木) 12:45～13:00
応募案件 遊漁用魚群探知機を用いた
3Dマッピング技術のダム堆砂状況調査への適用

国土交通省 株式会社建設技術研究所
プレゼン日時 5月23日(木) 13:00～13:15
応募案件 LTE通信を活用したVTOL型ドローンによる
砂防施設点検の効率化

国土交通省 ニチレキ株式会社
プレゼン日時 5月23日(木) 15:15～15:30
応募案件 簡易車載カメラによる道路巡視と
舗装点検の一体化の取組み ～GLOCAL-EYEZ～

国土交通省 パシフィックコンサルタンツ株式会社
プレゼン日時 5月23日(木) 15:30～15:45
応募案件 九州三次元河川管内図の仮想空間で実施した
堤防等河川管理施設の点検・評価の試行



元気丸

北岡 一成 さん
水戸 竜司 さん



土木漫才

5/23(木)・24(金)

(両日とも)
・12:15-12:30 ・14:30-14:45 他
イベント実施

今年も大盛況でした

